



とっぱずれ



銚子東ロータリークラブ Weekly Bulletin NO. 2138



長勝禅寺 (潮来市) 提供: 宮内 宗一 会員

第2138回 例会 平成28年4月19日

点 鐘 … 藤崎 一成 会長
ロータリーソング … それでこそロータリー
来訪ロータリアン紹介

… 親睦活動・家族委員会

会長挨拶 … 藤崎 一成 会長
御祝披露 … 藤崎 一成 会長
誕生祝 … 澤井 博 会員(4月15日)
結婚記念日 … 黒田 幸一 会員(4月16日)
入会記念日 … 木村 貞夫 会員(4月13日)
 中台 雅樹 会員(4月15日)
 石毛 園子 会員(4月17日)

幹事報告 … 星野 隆 幹事

ニコニコBOX … 親睦活動・家族委員会

卓話 齊藤 昭憲 会員

出席報告 … 出席・プログラム委員会

第10回定例理事会 (例会終了後)

来週のプログラム (平成28年4月26日)

卓話

「未定」

絶景の宿 犬吠埼ホテル

総支配人 梅津 佳弘 氏

お食事「あづま寿司」



Be a gift to the world

世界へのプレゼントになろう

2015~2016年度 RI会長 K.R. ラビンドラン

四つのテスト



言行はこれに照らしてから

- 1) 真実かどうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるかどうか

第 2137 回例会(平成 28 年 4 月 12 日)

会長挨拶

藤崎 一成 会長

先週は桜花爛漫、日本人に生まれた喜びを深く噛みしめる一週間でした。

折しも仕事の都合で東京に行く機会が何回もあり、皇居周辺の桜の美しさにはしばし時を忘れて見入っておりました。満開の桜を眺めつつ、北の丸公園から皇居の周辺を歩いている時、以前読んだ、竹村公太郎さんという元国土交通官僚が書いた「日本史の謎は地形で解ける」を思い出しました。

竹村さんは土木工学を専門とし、地形や気象の視点から歴史を論じ注目を集めている人であります。

皆さんは「江戸城の正門は何門ですか?」と問われたら何と答えるでしょうか。私は現在の地形から考えて、華やかな東京駅、丸の内側の大手門。あるいは外国の賓客などが通る二重橋の方面が正門側だと思っておりましたが、竹村氏はそれとは正反対の半蔵門が江戸城の正門であったのではないかとの説を立てております。

半蔵門と言えば新宿通りに面し、大手門や二重橋と比べるとひっそりとしている印象があります。一般的には、江戸城の裏口として将軍がいざという時に逃げ出す為の非常用の門と捉えられております。

ところが、江戸時代当時の地形を考えるとそれとは違う答えが導き出されます。すなわち江戸時代に遡れば、大手門、二重橋側は入江を埋め立てた土地であったことから、雨が降れば水浸しになってしまうような危うい土地柄だったそうで、正門にするには不向きと言えました。

しかも、二重橋に至っては、現在でこそ来賓用の石橋となっておりますが、江戸時代は御堀の一番深いところに位置し、構造上の安定を保つ為に上下二重にした不安定な木橋であったとのことでした。

それに対し半蔵門は甲州街道に面しておりますが、当時の甲州街道は地盤が安定した尾根道でありました。当時の人達はこの道を通って江戸城に向かったようですが、その尾根道の周囲を徳川幕府の中核幹部である御三家や親藩の上屋敷が取り囲み御城を護る格好となっております。

さらに徳川の親衛隊である旗本の住まいが現在の番町や紀尾井町、麴町周辺には密集しており、半蔵門に至るまでの道のりは厳重な防衛が成されていたのであります。

これら徳川に忠誠を尽くす者達を半蔵門側に配置させ

ていることから見ても半蔵門正門説はうなずけます。

さらに弘化年間改定江戸図と呼ばれる、当時の古地図を見ると半蔵門正門説が俄に真実味を帯びてまいります。

この古地図の江戸城本丸の位置には太い筆書きで堂々の「御城」の文字が書かれ、その上に三つ葉葵の御紋が燦然と輝いておりますが、この御城の文字は半蔵門側(新宿側)から見た時には「御城」と読めますが、東京駅側の大手門側から見ると「御城」の文字も三つ葉葵も上下がひっくりかえって見えてしまうのです。

つまり新宿側から東京湾を見下ろすようにこの地図を見れば、御城の文字が正しくなり、それに習って、紀伊家や井伊家などの藩邸の文字も逆さにならない構図になっているのです。これ、当時の人々が新宿側から甲州街道を通して、半蔵門を目指して江戸城に向かうことを前提とした書き方であります。何より、当時の時代背景を考えれば、将軍の居城を示す「御城」の文字や、三つ葉葵の紋を逆立ちして書くことは考えにくいとの見方も出来ると思います。

しかし古い地図の中には、江戸湾の方角から書かれたものもあり、地図の書き方だけを論拠として、半蔵門正門説を断定するのはいささか無理がありますが、江戸の地質的な問題や藩邸等重要施設の配置などを総合して考えれば、半蔵門正門説はあながち間違っていないように思えます。

地形という視点から、当時の人の行動を推察することにより、新しい歴史の見方が生まれることに面白みを感じた次第です。

それでは今週もロータリー哲学の実践により皆様方のご事業がますますの発展を遂げられることを切に願いつつ、4月第二例会の会長挨拶とさせていただきます。

※参考文献※ 日本史の謎は「地形」で解ける
竹村公太郎著 PHP 文庫 刊



弘化年間改定江戸図

幹事報告

1・R I 本部より

ブランドリソースセンターに関する重要なお知らせ

受領

2・ガバナー事務所より

義捐金の御礼と送金のお知らせ

受領

☆会報受領 波崎RC

卓 話

「真田丸」

網中 吉郎 会員

今放送されているNHK大河ドラマは「真田丸」ですので、これに因んだ話を作りたいと思います。勿論、これを造った人が真田幸村（信繁



と呼ぶのが正しいのですが、ここでは昔から聞きなれた幸村で通します)であることは周知のことです。海野姓から真田郷に住んで真田と称するようになった初代が真田幸隆、二代が昌幸、そしてその子が幸村と三代に亘り戦国時代を生き抜いてきた一族です。戦国最後の戦となる大坂の陣で勝ち目のない大坂方に与して、冬の陣では真田丸で、夏の陣は野戦で目覚ましい活躍をして散って行ったのが幸村です。

幸いにも真田家は、徳川方であった幸村の兄である信幸（後に信之と改名）の家系が江戸時代を通して信州松代10万石として幕末まで続きます。

私にとって、真田というとすぐに思い出されるのは信州の上田城です。小城ながら天正13年と慶長5年の二度までも徳川の大軍を相手に退けたことで有名です。

さて、本題の「真田丸」について考察してみたいと思います。

大坂城は、織田信長が10年間も攻略にかかった（武力では落とせずには講和で）石山本願寺の跡に造られた難攻不落と言われた名城ですが、ひとつ弱点がありました。大坂城は総構と呼ばれる大きな外堀に囲まれていましたが、そもそも大阪城は南北に伸びた台地の北端に築かれた城です。北側は淀川を天然の堀とし、西側は古代難波京の運河である東横堀、東は猫間川を改修して水堀として堅固さを保っていますが、南側は続く台地を切り離すために空堀を掘っただけなので、この南側が最大の弱点となる訳です。攻める側としては当然ここを攻撃してくるので、この弱点を補強するために幸村は真田丸を造ったのです。

それと、もうひとつ真田丸を作らなければならない理由がありました。兄の信之、叔父の信尹など身内のほとんどが徳川方に属していたことから、内応を疑う幹部もいたので、その疑いを払拭するためにも城外に出たのです。

真田丸は場外に造った出丸であり、砦です。真田丸は三方に空堀を掘り、堀をめぐらし、堀の外と空堀の中と堀の外とに三重の柵を構え、随所に矢倉などを設けた。

総構の外に構えた東西に長く、南北に短い半月型の砦でした。幸村はここに5～6千人の兵を率いて立て籠もりました。この軍勢は幸村直属の兵で、幸村の名声を慕って集まった浪人や昌幸にかつて仕えたことのある連中でした。

慶長19年12月4日、戦いが始まると予想通り徳川の大軍が真田丸に攻めかかってきました。これに対し幸村は、巧みな采配でさんざんに打ち負かし退けてしまいました。この一日の戦闘だけで、前田利常率いる加賀勢だけで名のある者が300騎以上も戦死、松平忠直率いる越前勢に至っては480騎戦死という記録があり、雑兵に至っては無数と言ってよいほどの損害を与えました。大坂冬の陣においては真田丸の完勝でした。

家康は、この事態に至って初めて昌幸の子である幸村の戦上手に気付かされたのです。家康も秀忠も、かつての上田合戦で2度までも真田昌幸に手ひどい反撃を受け、翻弄されたことを思い出したことでしょう。そこで、城攻めが苦手で野戦が得意な家康は策をめぐらし、一旦講和に持ち込み、堀を埋立て、裸城にして、真田丸も破却されてしまいました。翌年に再度大坂攻めを敢行し、強引に野戦に持ち込みます。いわゆる大坂夏の陣です。

慶長20年5月7日、真田丸を失った幸村はただ家康の首一つを求め突撃し、大いに家康本陣の旗本勢を突き崩し、もう一步のところまで追いつめたものの満身創痍となり、力尽き討死してしまいます。家康の大馬印を倒されたことは、三方ヶ原の大敗とこの時の2回だけです。幸村のこの見事なる武将としての進退を、天下無双の強兵で知られる薩摩の島津に「真田日本一の兵」と言わしめるほどであり、敵からも大いに称賛されました。

幸村は、前日6日の道明寺戦で、槍傷を負いながらも敵の首を取った嫡男大助を秀頼のもとに無理やり遣わします。この時大助は、幸村と共に討死するのだと言って泣いてすがったといいます。万が一にでも生き残る可能性に賭けた幸村の親心ではなかったかと思われる。実際、秀頼側近の速水甲斐守に信之長男の信吉のもとへ立ち退くよう勧められましたが、返事をしなかったそうです。大助は、「さすが幸村の嫡男よ」と言われる見事なる切腹をして父の後を追いました。

それでは、その他の幸村の子供たちはどうなったのでしょうか。

大坂落城の前夜、関東方の伊達勢の片倉重長（2代目小十郎）の陣屋に、幸村の娘の阿梅と家臣穴山小助の娘が訪れその保護を求めたという。重長は阿梅らを自領である白石に連れ帰った。その後、お菖蒲と二男大八ら幼い弟妹4人をも白石に引き取って白石城二の丸で養育した。幸村は夏の陣の際、長男大助と阿梅だけを連れ大坂城に入り、他は京都に避難させていたのである。このことから、私見ではありますが、幸村はこの戦での討死

を覚悟し、予め片倉重長（京都伏見で伊達家と真田家の屋敷が隣り合わせだったことで、初代小十郎と幸村は旧知の仲だった）に子供たちの保護を依頼するつもりでいたのではないかと思います。また、これを引き受けた重長も、鬼小十郎と呼ばれるほどの武人であるだけでなく、人の情けも知る第一級の人物であった。徳川にあれだけ逆らった者の子供、特に男子を庇護することは、当時大変危険なことだったからです。

後に、阿梅^{あうめ}は重長の継室に、お菖蒲^{しょうぶ}は初代小十郎景綱の姉喜多の名跡を相続した定広（伊達政宗正室愛姫^{めでひめ}の実家旧三春城主の田村定頭の嫡子）に嫁ぎ、この喜多流片倉家は後に伊達家の直臣となり、現在まで家系は続いています。湾岸戦争中のイラク大使であった片倉邦雄氏^{かつむね}がその人です

また、大八は片倉守信^{もりのぶ}と名乗り仙台本藩の家臣になり、夏の陣より約100年経った子の辰信^{ときのぶ}のとき伊達公の内命を受け真田姓に復姓しています。この真田家は今も仙台に住み幸村直系の家系を伝え、この仙台真田家は幸村から数えて14代目になるということです。

更に幸村は、冬の陣が終わり夏の陣が始まる前に、娘婿の信濃^{ちいさがた}小島郡の郷土石合十蔵あてに「自分がいなくなった後も、娘すえのことを見捨てずに面倒を見てやってほしい。」という手紙を出しています。

「日本一の兵^{ひのもといち つわもの}」と言われた幸村も、子供思いの一人の父親であったということが窺われ、何かほっとする安らぎを感じるのは私だけでしょうか。

——ニコニコ——

大内一恭君

両ロータリークラブゴルフコンペにおきまして初出場ながら準優勝出来ました。これも宮川会員のつけて下さったハンデのお陰です。

宮川雅夫君

4月10日両ロータリークラブゴルフコンペでベスグロの79で3位でした。

米山奨学生紹介

龔 雁（きょう えん）さん

在籍校：千葉科学大学 危機管理学部
危機管理システム学科 4年

国籍：中国

カウンセラー：網中 吉郎 会員

奨学期間：2015年4月1日～2017年3月31日



前回の例会(4/12)報告

点 鐘 藤崎 一成 会長

出席報告

会員総数	37名	出席規定除外数	5名
出席者	23名	出席率	65.71%
3月29日		確定出席率	77.78%

来訪ロータリアン なし

欠席者 12名

メイクアップ

平野君 川津君	(4/13銚子RC)
網中君	(4/16米山オリエンテーション)

スモールコインBOX	小計 ¥ 1,985-
	<u>累計 ¥ 60,144-</u>
ニコニコBOX	小計 ¥ 21,000-
	<u>累計 ¥ 365,430-</u>

銚子東ロータリークラブ

銚子市三軒町19番地の4 銚子商工会館内 TEL0479(23)0750 FAX0479(25)8789
メール c-higashirc@tcs-net.ne.jp URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~rc>

例会日時及会場 毎週火曜日 12時30分点鐘 銚子商工会館5階大会議室
会長 藤崎 一成 副会長 釜谷 藤男 幹事 星野 隆

R. I 第2790地区

クラブ広報・会報委員会 飯田貴之・幸保正東・宮川雅夫・宮内勝利・宮内宗一・杉浦 武
表紙題字 網中喜一郎初代会長

ほととぎす 銚子は国の とっぱずれ

古帳庵

江戸小網町の豪商鈴木金兵衛夫婦（古帳庵 古帳女）が銚子に遊んだときに

詠んだもので、この碑は圓福（円福）寺に現存する。